

さくらんぼ組 懇談会だより

令和2年5月15日

●年間目標

- 1、生理的欲求が満たされ、安心して園生活を楽しむ。
- 2、特定の保育者との信頼関係をもとに、人との関わりを喜ぶ。
- 3、遊びや生活の経験を通して、自己表現しようとする。

【1、についての取り組み】

6人の子ども達が保育園で過ごしますが、眠い、お腹がすいた、ウンチが出たなど時間も量も違います。子ども達一人一人と目を合わせて、目をこすっている様子や疲れている姿が見られたら、「眠くなったのかな?」「気持ちよくお布団にいける様に抱っこする?」などと心地よく眠りにつける様にスキンシップを取り、抱っこをします。離乳食を食べる時も月齢に合わせて椅子やいつも同じ保育者の膝に座り、一対一で「にんじんだよ。オレンジ色で甘いかな?」と食材の名前や色を伝えてみたり、食べている様子を「おいしいね」「もぐもぐ上手だね」などと暖かい言葉を伝え食事をする時間が楽しくなり、お腹いっぱいになって、機嫌よく過ごせる様になります。食事が進まない時には、子どもの気持ちをくみとり共感し、わかってくれたと安心して思いを表現できるようにしていきます。

オムツ替えの時は、子ども達一人一人のタイミングを見て「おしっこ出たね」「きれいにしようね」などと声をかけながら足をさすったり、触れ合う時間を大切にしていきます。

【2、についての取り組み】

大好きなお母さんと離れて不安な時に、特定の保育者がそばにいて、抱きしめやタッチなどスキンシップを取ったり、手に持ちたいおもちゃを見ていると渡してくれて一緒に楽しく遊べると「何でわかったのかな?」「伝わった?」と安心してくれます。言葉で伝える事が出来ない子ども達の目線やアイコンタクトを見逃さず、ゆったりと温かな触れ合いや言葉かけを大切に、自分は愛されて守られている。この人のそばにいれば安心だと感じられるように過ごしていきます。

【3、についての取り組み】

月齢によって遊びはさまざまですが、子ども達が興味を持った物に「これは〇〇だよ」「音が聞こえるおもちゃだね」などと伝えながら「どうぞ」と渡したり、「いないいないばー」など顔を使った表情を楽しむ遊びを繰り返すと色々な事に気づき、周りへの関心も出てきます。触れたいと思うおもちゃを準備したり、ハイハイやつかまり立ちをして、行きたい場所へ行けるような環境作りをし、安全に探索活動が出来る様にします。また、お天気の良い日には、外気浴に出かけ、お兄さんやお姉さんの様子を見て「何だろう?」という気持ちが芽生える様に散歩や園庭遊びも沢山取り入れていきたいと思います。月齢差もあるので、発達に合わせて「やってみたい」と思うような遊びを提供し、丁寧にかかわっていきます。

●子どもの様子

入園の日には、保護者の方と一緒に参加して笑顔で1日を過ごしました。その後、保育園へ登園し、月齢によってさまざまな子ども達の姿が見られます。1日過ごしている中でも心が揺れ動き、お母さんを思い出して涙を流す子もいました。しかし、気持ちが落ち着くと笑顔で、ミルクを飲んだり、安心して午睡をしている子もいます。お部屋のキッチンの道具を不思議そうに1つずつ出して、探索を楽しんだり、ご機嫌の時には、玩具を指で触れて口へ入れ、感触を楽しみながら過ごしています。

お気に入りのおもちゃをしっかりと持ち、どこへ行くにも抱っこをしたりしている可愛い姿や名前を呼ぶと、「アー」と自ら声を発して喃語を言ったり、保育者の語り掛けに手や足をバタバタと動かして反応してくれる姿もみられます。また、保育室内から、園庭からよく見えるので、幼児組の子ども達が、窓を覗き「〇〇ちゃん」と呼んでいる声が聞こえると、反応し外を見る姿もみられます。新型コロナウイルス感染症が収まったら、6人で過ごせるのを楽しみにしています。

●お願い・お知らせ

- ・手足の爪 → 顔などを傷つけてしまうので、こまめに切ってください。
- ・持ち物への記名 → 名前シールは剥がれて口に入れる可能性もあるので、サインペンではっきり書いていただけると助かります。
- ・着替えの補充 → 汗のかきやすい季節になります。半袖、長袖の服をご用意ください。スナップではないボタンなど控えていただけると助かります。
- ・離乳食の移行について → 食事経験表に基づいて移行していきます。ご家庭と一緒にすすめていきますので、分からない事や心配事がありましたら、お声かけください。
- ・当日の連絡先 → 連絡先が変更の場合は、連絡帳に入力をし、担任までお伝え下さい。また、出張等ある時は、その旨ご連絡下さい。